



東急1000形
1017編成

みんなが利用しやすい電車を探る
東急池上線新聞
特集「マークやスペースに注目」

発行日: 2016 9月26日
発行人: 伊藤 正太郎

参拜のために
開業した池上線
池上線は、都内15
駅を走るワンマンの
三両編成の列車です。
その始まりは1922年
に池上本門寺のお参
りすることを目的と
してつくられました。
当時は、蒲田と池上
をむすぶ列車でした。
現在のようには蒲田と
五反田まで開通した
のは16年後の1938年
です。蒲田と五反田
は10.9km。沿線には
お寺や公園のほかは
大きな病院や学校
もあります。住宅地
も多く、日中もたくさん
の人が利用していて
11時15分まで時間
10本ずつ運行しています。

2016年3月末に
黄色と紺色の電車
がデビューしました。
昭和20年代に池上線
で活躍した車両を
モデルにしたという
リニューアル車両です。
ぱくがおどろいたのは
フリースペースが
全車両にふえたとこ
とです。ぱくのよう
な車椅子ユーザーや
ベビーカーを使って
いる人、大きな荷物
を持っている人には
さらに乗りやすく
なりました。電車
はレトロ調で統一
されています。この
電車の特長を
はうかいします。

フリースペースが3倍の
リニューアル車両が登場



全車両にフリースペース
外から見てもわかるように
マークがある(右下)
広々としていて車椅子から
2台は入る(中左下)

木のつり革もある



かべも木目調で
昔の列車のようだ

T.K.K.とは?



Tokyo Kyuko
Kabushikikaisha
の略。昔のロゴ

駅構内のマークも大きく
なり、ひと目でわかる

利用者への案内の
マークや文字がゆか
に大きく記されるよ
うになりました。遠く
からでも見やすく、とても
わかりやすいです。



池上駅のホーム



蒲田駅の構内



編集後記
ぱくはこの新聞を
作成するために、
雪が谷検車区に
取村に行き、久保さん
と石井さんに池上線
についてたくさん教
えてもらいました。それ
皆さんに特に伝えた
ことを新聞にまとめ
ました。池上線につ
き、味を持つ人が
ふえるとうれしい
です。

